



平成 30 年度 羽鳥小学校だより

はとりっ子

第 1 9 号

平成 30 年 9 月 4 日 発行

小美玉市立羽鳥小学校

TEL 0299-46-0004

2学期が はじまりました。

= 第2学期始業式 =



始業式での校長先生の式辞を紹介します。

校長先生からは、二つお話しします。

一つ目は、2学期も夢や目標をもって生活しようということ です。

1学期には、214人のみなさんに夢についてお話を聞きました。2学期も校長室のドアをノックして、自分の夢や目標について話しに来てください。

二つ目は、思いやりをもって生活をしようということ です。

これは、みなさんによく考えてほしいことです。みなさんは「いじめ」という言葉を聞いたことがあると思います。新聞などでも話題になっていますし、1学

期には学校のアンケートにも答えたと思います。その結果を見ると「嫌な思いをして学校へ登校したくないという気持ちになったことがある」と答えた人がたくさんいました。

校長先生も今から50年以上前の小学生時代にいじめられた経験があり、登校したくないなと思ったことがありました。しかし、2～3日で解決したので、その後は楽しく生活できました。

羽鳥小学校には530人の児童がいます。これほど多くの人がいれば、仲良しの人や気の合わない人がいるのは当然のことだと思います。しかし、いくら気が合わなくても、かげで悪口を言ったり、ひとりぼっちにさせたりすることはいじめです。これは絶対にやめるべきです。きちんと言葉で伝えることによって解決するようにすること、長引かせないようにすることが大切です。言葉で伝えることが難しければ、先生に相談してください。そして解決するようにしていきましょう。先生にも相談できなければ、お家の人に相談してください。だまっていなくて相談することが必要なことです。これは、いじめられていると感じた人も同じです。必ず先生か家の人に相談してください。そうすることで楽しい生活を送ってほしいと思います。

羽鳥小のみなさんが、お互いに相手の気持ちを考えることで、誰もが気持ちよく生活できる学校になります。先生達はみなさんとそのような学校を目指していきます。

みんなが協力して「今日が楽しく明日も楽しみな学校」を目指しましょう。

危険箇所に看板を設置しました。

= 「通学路注意」 =

本校の学区内には、道幅が狭く、人と車がすれ違うのがやっとなという道路があります。児童のみなさんが気をつけて登下校していても、運転する人が平気でスピードを出したり、不注意で児童に気づかなかつたりした場合には、大変な事故になってしまいます。

朝の登校時間帯に交通量が目立つ狭い道路は、スクールゾーンに設定したり、横断歩道を設けたりすることがあります。本校でも検討したのですが、設定にはいろいろと条件があり、難しいようです。

そこで、市教委と相談して「通学路注意」の看板を設置することとなりました。

児童のみなさんは、くれぐれも「自分の命は自分で守る」という考えを大切に、交通ルールを守った上で、走っている車に十分注意してほしいと思います。

みなさんの通学路で、特に危険だと思う場所は、ぜひ、地区担当や担任の先生に相談してください。

